



2023 No.762

謹賀新年

## CONTENTS

### 年頭のごあいさつ

宮崎県漁業協同組合連合会  
代表理事会長 宇戸田 定信

水産庁長官 神谷 崇

宮崎県知事 河野 俊嗣

全国漁業協同組合連合会  
代表理事会長 坂本 雅信

全国共済水産業協同組合連合会  
代表理事会長 楠田 勇二

全国漁業共済組合連合会  
会長理事 宮原 淳一

宮崎県漁業共済組合  
組合長理事 矢部 廣一

日本漁船保険組合宮崎支所  
運営委員長 江藤 久義

宮崎県JF共済推進本部  
本部長 矢部 廣一

全国漁業信用基金協会宮崎支所  
理事 日高 光明

宮崎県漁協青壮年部連絡協議会  
会長 中野 利勝

宮崎県漁協職員連絡協議会  
委員長 時任 龍彦



### 令和4年の主な動き



1月～11月の動き

### 編集室



水産宮崎ダウンロードサービス

※必要な方はコチラから A4 サイズで出力出来ます。



## 宮崎県漁業協同組合連合会

### 代表理事会長 宇戸田 定信

新年、明けましておめでとうございます。

皆様には、清々しい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスの影響により生活スタイルが変化して3年が経過、2月にはロシアのウクライナ侵攻が勃発、その影響で世界情勢がさらに変化した1年となりました。多くを輸入に頼っている日本において石油製品、食料品や生活必需品のほとんどにおいて値上げが余儀なくされ、生活に大きな影響を受けております。さらに県内においては9月に台風14号が襲来、激甚災害に指定されるほどの甚大な被害が発生しました。本会及びJF施設においても被害を受け、漁業者の皆様にご心配をおかけしました。被害を受けた皆様の1日も早い復旧と平穏な生活を切に願うところであります。



昨年の県内漁業生産につきましては、一昨年と比べ一部の漁業種類を除き数量、金額ともに減少しております。天候不良、漁獲不振の影響と併せ、大臣許可まぐろ延縄漁業においては昨年1月より個別の公的IQ制度が導入されましたが、年の途中で割当上限に達する漁業者が多く思うような操業がかなわなかったことも一因と思われます。しかしながら、全体魚価については少しずつですが消費回復により上昇しつつあります。

また、石油情勢につきましては、国際的な金融情勢やエネルギー需給見通しの変化などを受け日々変動しております。国が実施するセーフティーネットの発動についても原油価格高止まりの影響で補填発動が続き積立金が不足する心配もありましたが、特例措置による期中積み増しが可能となったことで漁業経営を維持できると漁業者も安堵しております。燃料油価格激変緩和対策事業等も含め高騰対策については漁家経営を左右する大きな問題でありますので今後も注視していく必要があります。

本会につきましては、建設を進めていた北浦製氷新工場が昨年8月に完成いたしました。今後は漁業者への安定供給はもとより県内の各工場と連携した供給体制の円滑化に努め、尚一層漁業者の負託に応えていく所存であります。また、販売事業においては昨年に引き続き県内水産物消費拡大を図るための学校給食への提供と付加価値向上の新たな取り組みとして低利用魚の商品化を行いました。今後もさらなる魚価向上、消費拡大に向け取り組んでまいります。

さらに、本県水産業は漁業就業者の高齢化や後継者対策、人員不足等解決しなければならない問題を多く抱えております。このような中、JFグループとして、組合員の所得向上に貢献できる組織となるべく、経営基盤強化と職員の安定確保・育成を行うことを目的とした「県一漁協」に向け昨年6月には「宮崎県一漁協合併推進協議会」を設立、現在、協議会・各部門委員会・JFにて検討協議を進めております。令和7年4月に県一漁協として合併し、本県漁業者の皆様を将来に亘って支えうる組織づくりを目指してまいります。

本会は、協同組合の理念の下、会員との連携を一層強化し、本県の漁業の発展を図るため、負託に応えて参ります。

最後になりましたが、皆様方のご健勝と航海の安全、豊漁をご祈念申し上げまして、新年の挨拶と致します。

## 水産庁長官 神谷 崇



新年あけましておめでとうございます。

令和5年新春を迎えるに当たり、所感の一端を申し述べ、年頭の御挨拶とさせていただきます。

昨年は、海洋環境の変化を背景とする主要な魚種の不漁が長引く中、アサリの産地偽装に始まり、ウクライナ問題の勃発などの影響による燃油や飼料価格の高騰、相次ぐ台風の襲来や赤潮の発生などの自然災害に見舞われるなど、漁業者や水産加工業者などに大きな影響がありました。水産業を取り巻く環境は大きく変化しておりますが、新たな時代を切り拓いていくためには、引き続き水産資源の適切な管理と水産業の成長産業化を両立させ、将来を担う若者にとって漁業を魅力ある産業としていくことが求められています。

こうした中、昨年3月25日に新たな水産基本計画を策定し、「海洋環境の変化も踏まえた水産資源管理の着実な実施」、「増大するリスクも踏まえた水産業の成長産業化の実現」、「地域を支える漁村の活性化の推進」を施策の柱として位置付け、各般の施策を推進していくこととされました。本年も同計画に基づき、資源管理ロードマップに従った資源調査・評価体制の整備、科学的知見に基づく新たな資源管理、資源変動等の変化に適応可能な経営体の育成、スマート技術の利活用、養殖業の成長産業化、海業等の振興や防災・減災、国土強靱化の取組などを積極的に推進し、水産政策改革を更に確固たるものとしてまいります。

昨年12月には、水産流通適正化法を施行しました。本法律では、①国内において違法かつ過剰な採捕が行われるおそれ大きい魚種について、漁業者等による行政機関への届出、漁獲番号等の伝達等を、②国際的なIUU漁業防止の観点から本法律による輸入規制を講じる必要がある魚種については、輸入時に外国の政府機関等発行の証明書等の添付を、それぞれ義務付けており、この法律の適正な運用を通じて違法漁獲物の流通防止に努めてまいります。

また、水産物の消費拡大を官民協働で推進するため、毎月3日から7日までを「さかなの日」に制定しました。水産資源は元来持続可能な資源であること等から、魚を選択して食べることは、SDGsの持続可能な消費行動であるため、「さかな×サステナ」を「さかなの日」のコンセプトにしています。この「さかなの日」を浸透させ、民間企業等における水産物の消費拡大に向けた取組をより一層推進します。

改正漁業法における資源管理は、科学的な資源評価に基づき、持続的に生産可能な最大の漁獲量(MSY)の達成を目標とした数量管理を基本としています。このため、資源管理のロードマップに従って、新たな資源管理システムの構築を着実に進めています。資源評価の対象を192種に拡大し、T A

C魚種拡大に向け検討部会等で議論を進めるとともに、大臣許可漁業にはI Q管理が順次導入されています。新たな資源管理の推進に当たっては、関係する漁業者の理解と協力を得るため、引き続き、丁寧な意見交換に努めてまいります。

水産改革を円滑に進めるためには、ICTやAIの活用が不可欠です。このため、資源管理や資源評価の高度化の前提となる漁獲情報の収集や、漁業法に基づく漁獲報告等を電子的に収集する体制を整備するとともに、ICTを活用した漁場の見える化など、生産性や収益性の向上に資するスマート水産業を推進してまいります。

養殖業については、「養殖業成長産業化総合戦略」に基づき、生産者が需要に応じた計画的な生産を行うマーケット・イン型養殖業を引き続き推進するとともに、種苗や飼料の脱天然、脱輸入に対する取組や、養殖コストの低減に資する取組などの支援により、養殖業者の体質強化を推進していきます。これらにより、本年も引き続き官民一体となって、養殖業の成長産業化に取り組んでまいります。

「みどりの食料システム戦略」は、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現させるための新たな政策方針として、令和3年5月に策定されました。水産分野では、水産資源の適切な管理、天然資源に負荷をかけない持続可能な養殖生産体制の構築、漁船の電化・燃料電池化等に取り組んでまいります。

漁港漁場整備長期計画に基づき、水産業・漁村を取り巻く課題に対応するため、水産基盤の整備を強力に進めてまいります。具体的には、拠点漁港への機能集約や衛生管理対策等の機能強化、養殖場・漁港の一体整備による養殖生産拠点地域の形成を図り「水産業の成長産業化」を後押ししていきます。また、海洋環境の変化に適応した漁場の整備や災害リスクへの対応力強化による「持続可能な漁業生産の確保」の実現に向けて取り組んでまいります。

この他、漁村の魅力と所得の向上を図るため、水産物の生産・流通という従来の漁港の役割を引き続き発揮しつつ、これらと調和の取れた形で海業を推進してまいります。具体的には、海業に取組むにあたり活用可能な支援策をまとめた海業支援パッケージの作成、海業振興モデル地区の先行事例を創出、漁港において長期安定的な事業運営を可能とするための新たな仕組みの検討等を進めてまいります。

外国漁船等による違法操業の対策については、昨年新たに増隻した大型取締船をはじめとする取締船の装備の充実など、引き続き漁業取締体制の強化を図ります。

特に大和堆周辺水域については、我が国漁業者が安心して操業できるよう海上保安庁等と連携しながら万全の対応をとってまいります。

さらに、二国間協定に基づき外国漁船が我が国水域で操業する場合には、漁獲量など操業実態を的確に把握するため、立入検査等の取組を進めてまいります。

また、今年は商業捕鯨が再開して5年目になります。捕獲枠の拡大、鯨肉需要の増大、採算性の改善など、まだまだ克服すべき課題は多々ありますので、これまでの商業捕鯨をしっかりと検証し、課題を一つ一つ解決して、商業捕鯨が一日も早く軌道に乗るよう、関係者の皆様と協力しながら、しっかりと取り組んでいく所存です。

以上、年頭に当たり、本年の取組の方針の一端を述べさせていただきました。今年も、現場の皆様のご意見を伺いながら、水産業の持続的な発展に向けて最大限努力してまいりますので、引き続き、皆様方の御理解と御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後に、皆様方の御健勝と御活躍を祈念申し上げまして、私の新年の御挨拶とさせていただきます。

## 宮崎県知事 河野 俊嗣

### 新年を迎えて

謹んで新年のお喜びを申し上げます。

皆様には、日頃から県政に対する温かい御理解と御協力を賜り、深く感謝申し上げます。



長引くコロナ禍や原油価格・物価高騰に加え、昨年9月の台風第14号で甚大な被害が発生し、本県は「百年に一度」とも言うべき難局に直面しております。

このため、漁業者の皆様への影響を緩和するため、カツオ・マグロ漁船の修繕整備や漁業用資材購入に対する支援に加え、台風被害からの一刻も早い経営の再開・再建に向け、漁港施設等の復旧や養殖を再開するために必要な種苗の購入費補助などを含む補正予算を編成したところであります。

今後も、漁業者の皆様が安心して漁業を営むことができるよう、引き続き、本県水産業の維持・発展に向け全力で取り組んでまいります。

昨年は、宮崎と神戸を結ぶ長距離フェリーの新船2隻が就航したほか、本年度中には、東九州自動車道が北九州市から日南市まで結ばれるなど、交通インフラの整備が着実に進展しています。

また、漁業においては、昨年3月に、宮崎市が1世帯当たりのカツオの購入額と購入頻度で初めて全国1位となるなど、消費拡大の取組が成果を挙げております。

これらは、長年にわたる関係者の皆様の努力のたまものであり、深く敬意を表し、感謝申し上げます。

さらに、今年、宮崎県が再置された1883年から数えて、140年目の節目の年となります。「WBC侍ジャパン合宿」「G7宮崎農業大臣会合」「宮崎県人会世界大会」等の開催を好機と捉え、近海かつお一本釣の漁獲量日本一のカツオや「おいしさ日本一」の宮崎牛をはじめ、本県の多彩な魅力を国内外に発信し、ブランド力を高めるとともに、インバウンドを含む観光振興や輸出促進など、世界の活力を取り込むグローバル戦略の展開を通じて経済成長につなげてまいります。

県では、令和5年度の予算編成に当たり、「コロナ禍・物価高騰等からの再生・復興」「中山間地域の暮らしの維持・活性化」「経済・産業成長の促進」「次世代育成、若者・女性活躍の推進」「安全・安心な県土づくりの推進」という5つの視点から施策を構築することとしています。

水産業におきましては、今年から本格的に運用が始まる、最新の設備・機器を搭載した新たな漁業調査船「みやざき丸」で、従来の沖合を中心としたカツオ・マグロ類の調査に加えて、沿岸資源や未利用漁場の調査など、本船を最大限に利用して、先端技術を活用した漁海況情報の高度化や新たな魚礁漁場の整備等を図るとともに、スマート漁業を足がかりとした多様な人材の確保・育成と高収益型漁業への転換を促進するなど、競争力のある漁業経営体づくりに取り組むこととしております。

また、宮崎初かつおフェアや県産水産物のPR、消費拡大イベントの開催に加え、新たな商品開発や販路拡大にチャレンジする事業者を支援するとともに、世界的な水産物の需要増大を商機とした水産物の輸出を促進するため、輸出に取り組む流通加工業者等の施設整備を支援するなど、水産バリューチェーンの最適化に取り組むことで、本県水産関連産業の活性化を図り、本県水産業の成長産業化を着実に進めてまいりたいと考えております。

今後とも、漁業者の皆様とともに関係者一丸となって全力で取り組んでまいりますので、一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

本年が、県民の皆様にとりまして希望に満ちた明るい年となりますよう、心からお祈り申し上げます。年頭の御挨拶といたします。



## 全国漁業協同組合連合会

### 代表理事会長 坂本 雅信



あけましておめでとうございます。年頭にあたり、全国の皆さまに謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

振り返りますと、昨年は、本会が皆さまに支えられ、創立 70 周年を迎えた記念すべき年でありました。改めてこれまでの会員各位のご協力に深謝申し上げます。

漁業を取り巻く環境は、新型コロナウイルスの感染拡大、海洋環境変化に起因する特定魚種における不漁、国際情勢の変化に伴う燃油・資材等の価格高騰など、依然として厳しく、JF 全漁連会長就任以降、これらの諸課題に対応するため、JF グループの先頭に立って、対策の確立などを関係要路に強く要請しました。その結果、要望事項を網羅するかたちで、5 年連続で 3,000 億円を超える予算を確保することができました。

また、昨年は新たな水産基本計画がスタートした年でもあります。本計画は、「海洋環境の変化も踏まえた水産資源管理の着実な実施」、「増大するリスクも踏まえた水産業の成長産業化の実現」、「地域を支える漁村の活性化の推進」を柱に、「海業」などの展開も位置づけられました。現在、全国の浜では、その実現に向け、漁業者および JF グループが一丸となって、創意工夫ある取り組みを実施しており、本会は引き続きこれらの活動をサポートして参ります。

私は会長に就任してから「日本の漁業にはポテンシャルがある」ということをさまざまな機会に申し上げて参りました。日本の漁業はもともと豊かな海に囲まれた中で生まれた産業であり、多種多様な魚が日本の食文化を支えてきました。我々は、今後も将来にわたって、この資源をより有効に活用し、国内外の多くの人たちに全国の浜に出かけていただき、日本の水産物を食べていただけるような取り組みをサポートして参る所存です。併せて、プライドフィッシュプロジェクトや産直通販サイト「JF おさかなマルシェ ギョギョいち」などを通じて、国産水産物の消費拡大の一翼を担って参ります。

このほか、JF グループの運動方針に則り、担い手育成、合併等組織再編、産地市場統合、販売事業改革、浜プランの後押しなどに取り組み、浜の構造改革を実現して参ります。

東京電力福島第一原子力発電所における ALPS 処理水の問題については、「全国の漁業者・国民の理解を得られない ALPS 処理水の海洋放出に反対」という立場に変わりありません。我々が国に対して求めていた 5 つの要望に対する回答の 1 つである超大型基金が昨年度補正予算で措置されましたが、引き続き、残る 4 項目の申し入れ事項である漁業者・国民への説明、風評被害対策、ALPS 処理水の安全性の担保等について、国に真摯な対応を求めて参ります。

JF グループ関係者の皆さまにおかれましても、これまで以上に英知と総力を結集していただき、本会の活動に対して、引き続きのご協力・ご賛同を頂きたいお願い申し上げます。

最後となりますが、漁業の豊かな将来を念じつつ、全国各地でご活躍の皆様の操業の安全とご繁栄・ご健勝を祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。



## 全国共済水産業協同組合連合会

代表理事会長 楠田 勇二

### 3か年計画の総仕上げ

新年あけましておめでとうございます。

年頭にあたり、浜の皆様にご挨拶を申し上げます。

平素よりJF共済に格別のご高配を賜わり、心から厚く御礼申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症に罹患された、また、台風や地震等の自然災害により被害に遭われた全国各地の漁業関係者ならびに地域住民の皆様に対し、心よりお見舞いを申し上げますとともに、未だ不自由な暮らしをされています方々へ、一日も早い復旧をお祈りいたします。

さて、新型コロナウイルス感染症については、国内では2022年3月21日をもって行動制限(全ての都道府県のまん延防止等重点措置)が解除され、その後外国人観光客受け入れの緩和、各種イベントの再開等、徐々に日常生活、社会活動がコロナ禍前の状態に戻りつつあります。一方、高齢化や漁業従事者の減少、海洋環境の変化に伴う記録的不漁が続き、新型コロナウイルスによる魚価の下落や、ロシアのウクライナ侵攻や円安等の影響による資源価格の高騰など、漁業者やJFを取り巻く環境は行き先が見通せず、厳しい状況が続いています。

こうした中、2022年3月25日に「新たな水産基本計画」が閣議決定されました。この計画では、今後10年程度を見通し、海洋環境やとりまく社会・経済の変化など水産業をめぐる状況等を考慮し、持続性のある水産業の成長産業化と漁村の活性化の実現に向けて、①海洋環境の変化も踏まえた水産資源管理の着実な実施、②増大するリスクも踏まえた水産業の成長産業化の実現、③地域を支える漁村の活性化の推進の3本の柱を中心に諸施策を展開していくとしています。

JF共済では、3か年計画「浜の安心を未来へ～ひろげよう共済の輪～」において、浜のあんしんサポート運動を展開し、JF共済の輪の拡大、JF・JF共水連が一体となった共済推進体制の整備、JF共済事業をささえるJF役職員・JF共水連職員の育成などの重点取組施策を展開しています。その最終年度となる2022年度は、各施策を着実に実施するとともに、JFの厳しい経営状況を受け、共済事業の事業収益によりJFの安定的な経営を支えるための取組みを、各都道府県のJF共済推進本部を中心に進め、共済事業量目標達成に向けて邁進してまいります。

JF共済は、これからも引き続き「浜のあんしんサポート運動」を展開し、組合員・地域住民の皆様のニーズにあった保障を提供し、共済・保障を通じて浜を守るために役職員一同取り組んでまいります。関係者の皆様のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



## 全国漁業共済組合連合会

## 会長理事

## 宮原淳一

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

新春にあたり、皆様のご健康とご多幸を心よりご祈念申し上げます。

令和2年度から実施して参りました「令和の備えも『ぎょさい』と『ぷらす』」をスローガンに掲げた「ぎょさい普及推進全国運動」は、令和4年度が最終年度となります。最終年度は「ぎょさい」で共済金額7,335億円、「積立ぷらす」で漁業者積立額364億円、加入率90%を推進目標に設定し、その達成に向けて残りの3か月も漁業共済団体一丸となって普及推進に努めて参ります。



昨年を振り返りますと、トンガ沖の噴火に伴う津波や集中豪雨、台風、地震のほか九州地方を中心とした大規模な赤潮などの自然災害が多発し、各地で甚大な漁業被害が発生しました。さらに未だ冷めやらぬ新型コロナウイルス感染症による水産業界への影響や急激な円安、ウクライナ問題などの国際情勢の悪化による燃油・飼料等の価格高騰が続いており、漁業経営のセーフティネットとしての「ぎょさい」と「積立ぷらす」の役割の重要性を再認識する年となりました。

このように不漁や自然災害、コロナ禍など漁業を取り巻く環境が厳しいなか、「ぎょさい」と「積立ぷらす」による補償が漁業経営の継続に役立っている等、漁業者からの高い評価を頂いております。こうしたことも含め、制度の重要性が着実に漁業者に浸透しており、近年の共済加入率は高い割合で推移しています。自然災害対策・漁業経営対策としての「ぎょさい」と「積立ぷらす」への加入が、漁業経営に欠かせないものとなって来ている昨今、これからも漁業者からの制度への期待に応えていけるよう、事業の実施に努めて参ります。また、水産庁が検討を進めることになっている「漁業収入安定対策の機能強化及び法制化」においても、漁業者の方々に「ぎょさい」と「積立ぷらす」を引き続き、活用していただけるよう、漁業共済団体として漁協系統・漁業者団体の皆様と緊密に連携しながら、より良い制度の実現に向けて取り組んで参ります。

さて、本年4月以降の新年度からは、新たに普及推進の取組目標を設定し、厳しい漁業経営を取り巻く環境のなかでも漁業経営のセーフティネットとしての機能が発揮できるように、また、「ぎょさい」と「積立ぷらす」が漁業者により一層定着するよう、普及推進に取り組んで参る所存です。皆様には本年も変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、コロナ禍の影響が続くなか、「ぎょさい」と「積立ぷらす」の普及推進にご理解・ご協力頂いている漁業関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。新たな一年を迎え、コロナ禍が一日も早く収束することと本年が災害のない豊漁・豊作となることをご祈念申し上げ、新年のごあいさついたします。

## 宮崎県漁業共済組合 組合長理事 矢部 廣一



明けましておめでとうございます。

常日頃より、漁業共済（ぎょさい）事業につきましても、温かなご支援とご協力を賜わり厚く御礼申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルス感染拡大の出口が見通せない中、冬の入りには流行「第8波」とインフルエンザの同時流行も懸念され、一日でも早い収束を願うばかりではありますが、皆様におかれましては、気持ちも新たに新年をお迎えのことと拝察申し上げます。

さて、平成23年4月からスタートした国の「漁業収入安定対策事業（積立ぷらす）」は、計画的に資源管理（漁獲）又は漁場改善計画（養殖）に取り組む漁業者を対象として、“ぎょさい制度”の仕組みを活用して実施されていることは、皆様もご承知のことと存じます。

本県で見ますと、積立ぷらすへの漁業者の関心は年を追うごとに深まり、令和3年度実績では、漁業者の積立は、件数496件・申込額11億5,356万円にも増大しており、また一方、漁業者への払戻は、件数367件・金額32億5,968万円で、この11年間を通算すると81億7,064万円もの払戻（漁業者：1、国：3の割合）となっております。

現在、国では、新たな水産基本計画に示された方向性に基づき「漁業収入安定対策の機能強化及び法制化」の検討が水産庁において進められております。

私ども漁業共済団体では、『ぎょさい普及推進全国運動』を展開しておりますが、本県では、推進計画として契約高を表す「共済金額240億円」を掲げ、引き続き“契約割合の引上げ”“補償の厚いん補方式での加入”を促進し、目標金額の完全達成に向け、残す3ヶ月普及推進活動に邁進いたしますとともに、今後とも行政機関・漁協系統団体との一層の緊密な連携を図りながら、積極的に取り組んでまいり所存でございます。

漁業共済事業は、不漁や災害時などに対して共済金をお支払いすることで、漁業経営の安定に役立っている制度であることは申すまでもありませんが、制度発足から今日まで、全国の漁業者に支払われた共済金は8,119億円に達し、本県では、漁業者が負担された掛金97億円に対して、129億円もの共済金を支払っておりますことこそが、その証でもあることから「ぎょさい」の果たす役割は、一段とその重要性を増してきていることを実感しております。

今後とも、県下の漁業者の方々が安心して漁業経営が続けられるよう、「漁業共済」と「積立ぷらす」に幅広くご加入してくださることを願っております。

終わりに、皆様のご健勝と航海の安全・大漁を心からご祈念申し上げます。

## 日本漁船保険組合宮崎県支所

運営委員長 江藤 久義

皆様あけましておめでとうございます。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症による経済活動の制限が緩和され持ち直しの動きがみられましたが、本格的な景気の回復には至っておりません。今年はコロナ禍からの脱却を背景に更なる景気回復を期待したいところでございます。



さて、皆様ご周知の通り、日本漁船保険組合は平成 29 年に全国の保険組合と漁船保険中央会を統合した新たな全国組織として事業運営を開始し、本年度で 6 年目を迎え、今日まで順調に事業運営を進めております。

これもひとえに組合員をはじめ皆様方のご協力の賜だと深く感謝し、厚く御礼申し上げます。

宮崎県支所の業務につきましては保険の引受、支払、審査を中心に、漁協事務費交付金の支払や事故防止対策事業等を行っており、令和 4 年度に於いても「稼働動力漁船の全船加入、漁船の事故防止と保険金の早期支払」を最重点施策として業務を推進しました。

また、特別準備金を活用して実施する事故防止対策事業では、①無事戻事業で 3 年間無事故継続加入漁船に対し、支所上乘せ部分の無事戻金（令和 4 年度計画 356 件、1,863 万円）、全国共通部分（同 514 隻、907 万円、漁船保険、PI 保険、積荷保険含む）など合わせて 2,770 万円の交付を行い無事故奨励を進めました。

②啓発普及事業で衝突予防旗や帽子の配布、③整備点検事業としては漁船の高船齢化（引受隻数の 89.1%が船齢 20 年以上）が進んでおり、火災事故防止のため電気設備の整備・点検（同 160 隻）、機関整備点検（同 200 隻）を行い、④認定事業として、救命胴衣の着用率向上を推進する為、救命胴衣購入費の半額（1 着 3,300 円限度、5t 未満 2 着、5t 以上 3 着）（同予算 30 万円）の助成を行った他、⑤船舶自動識別装置助成金交付事業では衝突事故防止を図る目的で AIS 設置船（同予算 95 件、360 万円）の保険料助成を行い、海難事故防止に努めております。

なお、令和 4 年度の引受予定実績は 1,880 隻、250 億円と前年実績（1,906 隻、223 億 4,049 万円）に比べ隻数に於いて 26 隻（△1.38%）の減少、引受金額に於いては 26 億 5,951 万円（11.9%）増加することが予想されております。

一方、漁船保険事故は台風 14 号（9/18、930hPa、最大風速 40m/s）が鹿児島県鹿児島市付近に上陸し九州を北上しました。この台風により漁船事故に関しましては県北・県央を中心に 32 隻、2,250 万円の損害となっております。

また、依然といたしまして自動操舵装置などの航海計器類に頼り過ぎ見張りを怠り衝突、座礁する運航上の不注意により乗組員の人命にも拘りかねない危険な事故も発生しておりますので、今後共この種の事故の再発防止と操業の安全につきまして指導して参りたいと存じます。

以上、令和4年度の業務執行の状況につきまして、申し述べましたが、次に新年度に実施いたします主な事項について簡単にご説明申し上げます。

新組織となり7年目を迎えますが、前年度同様「稼働動力漁船の全船加入、漁船事故防止の徹底した対策、乗船中の救命胴衣の着用の励行と保険金の早期支払」を最重点施策といたしまして業務の推進に努め、漁船事故による損害の復旧と船主等の諸種の負担を軽減して漁業経営の安定に資するという本組合の使命達成のため全力を尽す所存でございますので、何卒皆様方のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

年頭にあたりまして、皆様のご健康と操業の安全並びに豊漁をお祈り申し上げご挨拶いたします。



## 宮崎県 J F 共済推進本部 本部長 矢部 廣一



新年あけましておめでとうございます。

皆様方には、日頃より J F 共済事業へのご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。新春を迎えるにあたりまして一言ご挨拶申し上げます。

はじめに、第6波、第7波の新型コロナウイルス感染症および1月の日向灘沖地震、9月の台風14号等の相次ぐ自然災害により被害に遭われた漁業関係者および地域住民の皆様に対し、衷心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈りいたします。

さて、去年は長引く新型コロナウイルス感染症拡大の影響で国内での需要の冷え込みによる漁価の低迷、ロシアによるウクライナ侵攻や円安等の影響により、JF 共済の事業基盤であります漁業・漁村を取り巻く環境は以前にも増し厳しい状況になりますことは皆様ご承知のとおりです。

そのようななか、JF 共済では、「浜の安心を未来へ～ひろげよう共済の輪～JF 共済3か年計画」の最終年度として、課題である「保有契約量の減少傾向に歯止めをかけるための取組み」を着実に実践し、J F 共済事業の健全性・信頼性の強化に取り組んでいるところでございます。

推進本部といたしましては、3か年計画における「生命・建物の保障を組合員・世帯構成員・地域住民に幅広く提供し、J F 共済の輪の拡大を図って行く。」ことに重点的に取組み、J F 組合員等1人ひとりに満足・納得のいく保障を提供するため、漁協役職員はもとより、女性部・青壮年部等のご協力を賜り、各共済種目の目標達成をめざして、積極的な普及推進活動を展開しているところでございます。

このような中、基幹種目の一つであります「くらし」につきましては、昨年度に引続き積極的な推進活動、保障額の見直しにより、順調に年度目標達成に近づいております。「チョコー」につきましては、「新医療共済『匠』」や女性特約の「りぼん」等に加えて介護共済「あしすと」、三大疾病保障付介護共済「あしすとぷらす」の周知徹底を図るべく推進活動を展開しており、第4四半期での成果を期待するところです。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めながら、全戸訪問を通じた保障の案内、見直しを提案する「浜のあんしんサポート運動」を積極的に展開していくことで J F および各系統団体と一体となって事業量目標の達成に向けた活動に取り組んでまいります。

私たち J F 共済は、海に生き、浜に生活する組合員・地域住民の「暮らしの保障」に万全を期すことを通じて、美しい海と漁業を守り、豊かに安心して暮らすことのできる魅力ある地域づくりに貢献してまいりたいと考えておりますので、どうか本年も、引き続きご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、皆様方のご健勝と操業の安全及び大漁をご祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 全国漁業信用基金協会宮崎支所

理事 日高 光明

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆様には、日ごろから温かいご支援、ご協力を頂き誠にありがとうございます。

さて、昨年一年間を振り返りますと、9月に台風が県北地区を中心に大きな災害をもたらしました。県内各地で漁船、生産施設、養殖漁の被害報告とともに、流木等による二次被害も各地で発生しております。被害に遭われた全ての皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をご祈念いたします。地球温暖化の影響により大型化した自然災害が毎年のように全国いたるところで発生しておりますので、皆様におかれましては、常日頃からの備えをお願いいたします。



この台風被害に対する金融支援につきましては、保証面において漁業保証保険制度における災害特例制度を活用し、全国漁業信用基金協会支所としては全国に先駆けて保証料の引き下げを実施し、取り扱うこととしております。

また、新規発生が報告されてから3年目を迎える新型コロナウイルス感染症ですが、3年目となると我々の意識にも変化があるようで、感染リスクをゼロにすることは困難との前提の下、「新しい生活様式」による感染防止対策を標準装備化しながら、新たな変化や不測の事態にも対応できる持続可能な経済・社会づくりに取り組む方向へと舵がきられ、少しは明るい光が見えてきたように思います。その他、直接的な当事者ではないものの、昨年2月開始されたロシアによるウクライナ侵攻は、世界規模で資源エネルギー、鉱工業、食糧、物流、各種産業に大きな影響を与えており、今もって停戦の糸口さえつかめていない状況であります。このことは、水揚不振・魚価安・就業者の減少といった予てからの問題に加え我が国の水産業にも新たな問題として重くのしかかっているところであり

ます。

これら諸問題につきましては、国家レベルの対策が適宜打たれているところではありますが、基金協会としてもできる限りの施策を実施しながら漁業者の支援に邁進する所存であります。

まだまだ保証機関に課せられている課題は山積しておりますが、今後も漁業者の声に真摯に対応することはもちろんのこと、漁業の成長産業化を支援できるよう、系統唯一の保証機関として将来の浜を担う漁業経営体を金融の側面から支援を行っていく所存でありますので、会員の皆様をはじめ関係団体の皆様にはご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後に、新しい年が、皆様にとりまして希望に満ちた明るい年になりますように、心からお祈り申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

## 宮崎県漁協青壮年部連絡協議会 会長 中野 利勝



新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、会員の皆様を初め、関係団体や行政の皆様方には多大なるご協力、ご高配を賜り誠にありがとうございました。

書面をお借りしお礼申し上げます。

本年もより一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

さて、我々漁青連は、会員相互の連絡調整を図り、漁協・関係団体と提携して会員の組織活動強化を促進し、県内水産業の発展と漁村文化の向上に寄与することを目的に活動を行っております。ここ2カ年は新型コロナウイルス感染症防止の観点から活動できなかったものの、昨年は宮崎県青年・女性漁業者交流大会や九州地区漁青連会長会議、本年は全国青年・女性漁業者交流大会を予定しており、徐々に活動がコロナ禍以前に戻りつつあります。

我が国水産業界では、新型コロナウイルス感染症が依然猛威を振るい、外食産業の市場が縮小し、生鮮魚介類を扱う小売店の取扱も減少したことに加え、ウクライナ等の国際情勢による急激な燃油の高騰が追い打ちをかけ、多くの漁業者が操業を制限せざるを得ない状況になり、漁家経営に深刻な影響が発生しました。

そのような状況の中、国による影響緩和策等が打ち出され、感染防止対策や販路回復・開拓、経営継続のための取組が行われておりますが、昨年の1月から3月には2回目のまん延防止等重点措置が発出され、12月に新たな変異株であるケルベロス株が国内で発見される等、更なる長期化も懸念されることから、JFグループを通じて新たな経済対策の実施を国に対し強く要請しました。

我々漁青連としましても、全国組織である全国漁青連と情報共有を行い、JFグループが一丸となって、喫緊の課題である販売力の強化に取り組むとともに、会員の柔軟な発想と若い力を集結して、活動内容をより一層活性化させ、組織強化に努めて参りますので、引き続き皆様方のご指導、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びになりますが、皆様方のご健康と航海安全並びに大漁を御祈願し、私の挨拶とさせていただきます。



## 宮崎県漁協職員連絡協議会 委員長 時任龍彦

皆様、明けましておめでとうございます。

新年を迎えるにあたり一言ご挨拶を申し上げます。

昨年中は漁協職連の活動において漁業者の皆様をはじめ関係機関の皆様には深いご理解とご協力を賜り誠にありがとうございました。

さて、会員間の親睦を目的に地区ごとに開催しておりますボーリング大会につきましては、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、ここ2ヶ年間は全地区において中止となっておりますが、県中地区において今後の開催を予定しております。

この様に、職連活動を推進できる状況が徐々に戻りつつある中で、今後も役員、会員の皆様から新たなご提案を頂き、職連活動を盛り上げていきたいと思っております。

さて、昨年を顧みますと、本県の漁業を取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症の影響による魚価の低迷、漁業就業者の高齢化と人員不足等依然として厳しい状況が続いております。

このような中、水産物を消費者の皆様へ安定的に供給し豊かな水産資源と美しい海洋環境を次の世代へ引き継ぐことが、漁業に携わる私たち漁協系統職員の責務であることを再認識しております。

各組合におかれましてもこれまで以上に漁家経営の安定向上と漁協の経営基盤の強化に取り組んでいかれるものと存じます。

我々職連といたしましても漁業の発展と会員の福祉の向上に諸活動を通じて積極的に取り組んで参りますので関係者の皆様のご理解、ご協力を賜りますようお願い致します。

最後になりますが、今年一年が会員の皆様方にとって素晴らしい年でありますことと、漁業者の皆様への航海安全と豊漁の良き年となることをお祈り致しまして新年に当たりましてのご挨拶と致します。



## 2022年11月末漁業生産統計 (属人)

上段 数量：トン 下段 金額：千円

| 漁業種類名<br>漁協名 | かつお<br>一本釣         | まぐろ<br>はえ縄         | まき網                 | ひき縄            | 底びき<br>網       | 船びき<br>網       | 定置               | 養殖                 | その他              | 合計                  |
|--------------|--------------------|--------------------|---------------------|----------------|----------------|----------------|------------------|--------------------|------------------|---------------------|
| 北浦           |                    |                    | 27,218<br>1,894,500 | 6<br>4,476     | 248<br>82,429  |                | 592<br>204,660   | 4<br>7,546         | 739<br>30,815    | 28,805<br>2,224,427 |
| 島浦町          |                    | 225<br>264,888     | 2,772<br>225,720    | 10<br>11,260   |                |                | 308<br>99,511    | 578<br>549,314     | 19<br>36,225     | 3,912<br>1,186,918  |
| 延岡           |                    |                    | 18<br>2,716         | 16<br>13,147   | 6<br>3,684     | 129<br>45,967  | 3<br>802         |                    | 112<br>32,415    | 284<br>98,731       |
| 延岡市          | 106<br>46,868      |                    |                     | 2<br>1,078     | 28<br>10,227   | 53<br>20,401   | 875<br>213,537   | 1<br>813           | 84<br>91,474     | 1,148<br>384,399    |
| 庵川           | 140<br>76,676      | 359<br>363,691     | 126<br>36,317       | 0<br>64        | 54<br>24,235   |                | 173<br>72,168    | 106<br>71,324      | 38<br>29,828     | 994<br>674,304      |
| 門川           |                    | 16<br>21,135       |                     | 12<br>7,739    | 26<br>10,149   | 37<br>14,638   |                  |                    | 26<br>31,718     | 118<br>85,379       |
| 日向市          | 264<br>132,378     | 1,841<br>2,147,806 |                     | 8<br>4,053     | 1<br>451       | 87<br>19,725   | 558<br>169,239   | 39<br>22,881       | 86<br>67,606     | 2,885<br>2,564,140  |
| 都農町          | 0<br>25            | 241<br>238,780     |                     | 7<br>5,490     |                |                |                  |                    | 17<br>22,411     | 264<br>266,706      |
| 川南町          |                    | 1,678<br>1,977,772 |                     | 104<br>80,058  | 3<br>1,722     |                |                  |                    | 112<br>115,035   | 1,897<br>2,174,588  |
| 一ツ瀬          |                    |                    |                     | 5<br>5,999     | 9<br>5,143     |                |                  |                    | 46<br>34,174     | 60<br>45,316        |
| 檣浜           |                    |                    |                     | 3<br>2,514     |                | 22<br>3,730    |                  |                    | 27<br>22,507     | 51<br>28,751        |
| 宮崎           |                    | 389<br>423,439     |                     |                |                | 152<br>34,508  |                  |                    | 93<br>91,600     | 634<br>549,548      |
| 宮崎市          |                    | 112<br>116,415     | 1,148<br>103,684    | 30<br>22,110   | 14<br>7,819    | 37<br>5,943    | 128<br>80,171    |                    | 52<br>97,362     | 1,522<br>433,504    |
| 日南市          | 2,328<br>975,938   | 1,012<br>933,381   |                     | 63<br>52,442   |                |                | 86<br>44,227     |                    | 55<br>121,600    | 3,544<br>2,127,588  |
| 南郷           | 8,229<br>3,491,364 | 1,264<br>657,255   |                     | 78<br>67,890   |                |                | 640<br>159,616   |                    | 56<br>41,593     | 10,267<br>4,417,717 |
| 栄松           |                    | 64<br>59,958       |                     | 18<br>22,406   |                |                |                  |                    | 4<br>7,344       | 86<br>89,708        |
| 外浦           | 2,834<br>1,182,462 | 225<br>72,787      |                     |                |                |                | 817<br>221,069   |                    | 3<br>5,819       | 3,879<br>1,482,138  |
| 串間市東         |                    | 86<br>79,370       |                     | 23<br>14,076   |                |                | 1,186<br>312,074 |                    | 119<br>97,591    | 1,414<br>503,110    |
| 串間市          |                    |                    |                     | 19<br>25,611   | 2<br>1,419     | 19<br>32,387   | 12<br>8,136      | 6,545<br>3,810,523 | 11<br>39,000     | 6,607<br>3,917,076  |
| 合計数量         | 13,901             | 7,512              | 31,281              | 404            | 392            | 536            | 5,377            | 7,272              | 1,698            | 68,372              |
| " 金額<br>(魚価) | 5,905,711<br>425   | 7,356,679<br>979   | 2,262,938<br>72     | 340,413<br>843 | 147,279<br>376 | 177,298<br>331 | 1,585,210<br>295 | 4,462,401<br>614   | 1,016,120<br>598 | 23,254,049<br>340   |
| 前年数量         | 22,935             | 9,370              | 54,354              | 479            | 506            | 1,465          | 4,374            | 9,183              | 839              | 103,505             |
| " 金額<br>(魚価) | 5,622,624<br>245   | 7,139,346<br>762   | 3,099,386<br>57     | 280,176<br>585 | 143,562<br>283 | 404,118<br>276 | 1,190,857<br>272 | 5,744,436<br>626   | 761,423<br>908   | 24,385,928<br>236   |
| 数量増減         | -9,035             | -1,858             | -23,073             | -75            | -114           | -930           | 1,003            | -1,911             | 859              | -35,133             |
| " 対比(%)      | -39.4              | -19.8              | -42.4               | -15.7          | -22.6          | -63.4          | 22.9             | -20.8              | 102.5            | -33.9               |
| 金額増減         | 283,087            | 217,332            | -836,448            | 60,237         | 3,717          | -226,820       | 394,353          | -1,282,035         | 254,697          | -1,131,879          |
| " 対比(%)      | 5.0                | 3.0                | -27.0               | 21.5           | 2.6            | -56.1          | 33.1             | -22.3              | 33.5             | -4.6                |
| 魚価増減         | 180                | 217                | 15                  | 258            | 92             | 55             | 23               | -12                | -310             | 105                 |
| " 対比(%)      | 73.3               | 28.5               | 26.9                | 44.1           | 32.5           | 20.0           | 8.3              | -1.9               | -34.1            | 44.4                |

端数処理の関係で下一桁が合わない場合があります。

## 2022年11月漁業生産統計（属人）

上段 数量：トン 下段 金額：千円

| 漁業種類名<br>漁協名 | かつお<br>一本釣     | まぐろ<br>はえ縄       | まき網              | ひき縄           | 底びき<br>網      | 船びき<br>網      | 定置             | 養殖             | その他              | 合計               |
|--------------|----------------|------------------|------------------|---------------|---------------|---------------|----------------|----------------|------------------|------------------|
| 北浦           |                |                  | 2,930<br>218,195 | 0<br>76       | 21<br>5,780   |               | 43<br>19,996   |                | 2<br>5,273       | 2,996<br>249,321 |
| 島浦町          |                | 24<br>23,214     | 335<br>25,828    |               |               |               | 20<br>8,164    | 55<br>58,900   | 2<br>1,643       | 436<br>117,749   |
| 延岡           |                |                  |                  | 1<br>378      | 1<br>598      | 2<br>1,570    |                |                | 6<br>3,105       | 10<br>5,652      |
| 延岡市          | 17<br>5,503    |                  |                  | 0<br>18       | 3<br>1,379    |               | 58<br>21,222   |                | 6<br>5,678       | 83<br>33,801     |
| 庵川           | 16<br>14,200   | 23<br>22,607     | 2<br>378         |               | 5<br>3,130    |               | 21<br>9,636    | 11<br>7,509    | 3<br>2,244       | 80<br>59,703     |
| 門川           |                | 2<br>2,199       |                  | 0<br>171      | 3<br>1,219    | 2<br>1,695    |                |                | 3<br>2,557       | 9<br>7,842       |
| 日向市          | 8<br>4,278     | 216<br>230,507   |                  | 2<br>679      |               |               |                | 23<br>9,753    | 38<br>17,382     | 287<br>262,599   |
| 都農町          |                | 17<br>20,765     |                  | 2<br>1,157    |               |               |                |                | 1<br>3,542       | 20<br>25,464     |
| 川南町          |                | 172<br>218,442   |                  | 12<br>10,003  | 0<br>66       |               |                |                | 13<br>11,885     | 197<br>240,395   |
| 一ツ瀬          |                |                  |                  | 1<br>1,050    | 1<br>502      |               |                |                | 3<br>3,002       | 5<br>4,554       |
| 穂浜           |                |                  |                  | 0<br>110      |               | 0<br>32       |                |                | 2<br>1,508       | 2<br>1,650       |
| 宮崎           |                | 36<br>49,738     |                  |               |               | 1<br>249      |                |                | 4<br>2,515       | 41<br>52,502     |
| 宮崎市          |                | 8<br>9,746       |                  | 4<br>2,023    | 1<br>818      | 0<br>71       | 24<br>18,258   |                | 6<br>26,440      | 44<br>57,356     |
| 日南市          | 184<br>80,705  | 144<br>161,357   |                  | 5<br>4,097    |               |               | 1<br>835       |                | 4<br>18,013      | 338<br>265,007   |
| 南郷           | 73<br>36,751   | 137<br>56,353    |                  | 2<br>1,982    |               |               | 42<br>16,993   |                | 7<br>4,994       | 262<br>117,072   |
| 栄松           |                | 7<br>5,323       |                  | 2<br>2,812    |               |               |                |                | 0<br>1,433       | 9<br>9,568       |
| 外浦           | 58<br>25,930   | 44<br>10,187     |                  |               |               |               | 106<br>32,755  |                | 0<br>591         | 209<br>69,463    |
| 串間市東         |                | 10<br>9,260      |                  | 1<br>741      |               |               | 38<br>16,876   |                | 2<br>5,235       | 52<br>32,111     |
| 串間市          |                |                  |                  | 1<br>1,514    |               | 0<br>688      | 0<br>312       | 705<br>362,380 | 1<br>1,026       | 707<br>365,920   |
| 合計数量         | 356            | 840              | 3,267            | 34            | 35            | 6             | 353            | 794            | 103              | 5,788            |
| " 金額<br>(魚価) | 167,366<br>470 | 819,697<br>976   | 244,401<br>75    | 26,811<br>792 | 13,493<br>390 | 4,306<br>686  | 145,047<br>410 | 438,543<br>552 | 118,066<br>1,146 | 1,977,730<br>342 |
| 前年数量         | 496            | 1,039            | 6,807            | 40            | 56            | 346           | 387            | 783            | 92               | 10,047           |
| " 金額<br>(魚価) | 238,765<br>481 | 1,032,556<br>993 | 412,965<br>61    | 26,128<br>655 | 17,367<br>312 | 95,884<br>277 | 141,517<br>365 | 464,993<br>594 | 99,180<br>1,076  | 2,529,356<br>252 |
| 数量増減         | -140           | -199             | -3,540           | -6            | -21           | -340          | -34            | 11             | 11               | -4,259           |
| " 対比(%)      | -28.2          | -19.2            | -52.0            | -15.1         | -37.8         | -98.2         | -8.8           | 1.4            | 11.8             | -42.4            |
| 金額増減         | -71,399        | -212,860         | -168,564         | 683           | -3,875        | -91,578       | 3,530          | -26,450        | 18,886           | -551,626         |
| " 対比(%)      | -29.9          | -20.6            | -40.8            | 2.6           | -22.3         | -95.5         | 2.5            | -5.7           | 19.0             | -21.8            |
| 魚価増減         | -11            | -18              | 14               | 137           | 78            | 409           | 45             | -41            | 69               | 90               |
| " 対比(%)      | -2.3           | -1.8             | 23.3             | 20.9          | 24.8          | 147.8         | 12.3           | -7.0           | 6.4              | 35.7             |

端数処理の関係で下一桁が合わない場合があります。

## 2022年11月末の対前年比較属人水揚げ表

| 区分<br>漁協名 | 11月末累計  |            |            | 前年同月末との比較 |            |            |         |            |          |
|-----------|---------|------------|------------|-----------|------------|------------|---------|------------|----------|
|           | 数量<br>t | 金額<br>千円   | 魚価<br>円/kg | 昨年同月累計    |            |            | 増減      |            | 魚価<br>対比 |
|           |         |            |            | 数量<br>t   | 金額<br>千円   | 魚価<br>円/kg | 数量<br>t | 金額<br>千円   | %        |
| 北浦        | 28,805  | 2,224,427  | 77         | 45,755    | 2,803,353  | 61         | -16,949 | -578,926   | 26.0     |
| 島浦町       | 3,912   | 1,186,918  | 303        | 9,674     | 1,467,720  | 152        | -5,762  | -280,802   | 100.0    |
| 延岡        | 284     | 98,731     | 348        | 364       | 105,950    | 291        | -80     | -7,219     | 19.3     |
| 延岡市       | 1,148   | 384,399    | 335        | 1,083     | 305,940    | 283        | 65      | 78,459     | 18.5     |
| 庵川        | 994     | 674,304    | 678        | 1,050     | 573,760    | 546        | -56     | 100,544    | 24.1     |
| 門川        | 118     | 85,379     | 726        | 230       | 98,184     | 426        | -113    | -12,805    | 70.5     |
| 日向市       | 2,885   | 2,564,140  | 889        | 3,934     | 2,694,191  | 685        | -1,049  | -130,051   | 29.8     |
| 都農町       | 264     | 266,706    | 1,010      | 329       | 234,922    | 713        | -65     | 31,784     | 41.6     |
| 川南町       | 1,897   | 2,174,588  | 1,146      | 2,440     | 1,957,827  | 802        | -543    | 216,761    | 42.8     |
| 一ツ瀬       | 60      | 45,316     | 755        | 74        | 51,464     | 694        | -14     | -6,148     | 8.8      |
| 憶浜        | 51      | 28,751     | 563        | 114       | 43,811     | 385        | -63     | -15,060    | 46.5     |
| 宮崎        | 634     | 549,548    | 867        | 988       | 568,295    | 575        | -355    | -18,747    | 50.8     |
| 宮崎市       | 1,522   | 433,504    | 285        | 1,677     | 452,798    | 270        | -155    | -19,294    | 5.5      |
| 日南市       | 3,544   | 2,127,588  | 600        | 4,902     | 1,870,007  | 381        | -1,358  | 257,580    | 57.4     |
| 南郷        | 10,267  | 4,417,717  | 430        | 16,756    | 4,469,205  | 267        | -6,489  | -51,487    | 61.3     |
| 栄松        | 86      | 89,708     | 1,045      | 92        | 78,544     | 854        | -6      | 11,164     | 22.4     |
| 外浦        | 3,879   | 1,482,138  | 382        | 4,503     | 1,097,330  | 244        | -624    | 384,808    | 56.8     |
| 串間市東      | 1,414   | 503,110    | 356        | 1,130     | 397,659    | 352        | 284     | 105,451    | 1.1      |
| 串間市       | 6,607   | 3,917,076  | 593        | 8,408     | 5,114,965  | 608        | -1,801  | -1,197,890 | -2.5     |
| 合計        | 68,372  | 23,254,049 | 340        | 103,505   | 24,385,928 | 236        | -35,133 | -1,131,879 | 44.4     |

端数処理の関係で、下一桁が合わない部分があります。

## 令和4年1月～11月の動き

### 1月の動き

|     |   |  |
|-----|---|--|
| 19日 | 2021年度第3回全国漁連・信漁連専務参事2021年度第2回指導担当部課長合同会議 |  |
|     | 宮崎県旋網漁業組合 第1回役員会                          |  |
|     | 宮崎県浮魚礁利用協議会 県南地区部会                        |  |

### 2月の動き

|     |                           |  |
|-----|---------------------------|--|
| 7日  | 機器導入事業・セーフティーネット構築事業事前説明会 |  |
| 17日 | 2021年度 JF グループ管理職研修会      |  |
| 18日 | 2021年度税務研修会               |  |

### 3月の動き

|     |                   |     |                              |
|-----|-------------------|-----|------------------------------|
| 1日  | 令和3年度磯焼け対策全国協議会   | 14日 | 令和3年度資源管理普及講習会               |
| 4日  | 2021年度第1回倫理委員会    | 15日 | 令和4年度漁協青壮年部長及び事務担当者会議        |
|     | 第2回安全衛生委員会        |     |                              |
| 8日  | 令和3年度密漁防止対策全国連絡会議 | 23日 | 令和3年度資源管理協議会第2回総会            |
| 10日 | 2021年度第6回理事会      | 24日 | 令和3年度宮崎県藻場干潟等保全地域協議会 第2回通常総会 |
|     | 第3回監事会            |     |                              |

## 4月の動き

|     |                        |                                 |                        |
|-----|------------------------|---------------------------------|------------------------|
| 12日 | 2022年度第1回理事会           | 20日                             | 宮崎県漁政対策委員会 第1回委員会      |
|     | 役員候補者推薦委員選出協議会、推薦会議    |                                 | 宮崎県 JF 政治連盟 第1回役員会     |
| 15日 | 宮崎県旋網漁業組合 2022年度第2回役員会 |                                 | 21日                    |
| 18日 | 宮崎県一漁協合併計画検討協議会 第2回監事会 | 2022年度第1回串間大規模沖合養殖地域プロジェクト地域協議会 |                        |
|     |                        | 臨時総会、第2回理事会                     |                        |
|     |                        |                                 | 宮崎県一漁協合併計画検討協議会 第2回協議会 |

## 5月の動き

|             |                     |     |                     |
|-------------|---------------------|-----|---------------------|
| 10日         | 宮崎県漁協職員連絡協議会 第1回役員会 | 24日 | 2022年度第3回理事会        |
| 16日<br>~19日 | 2021年度決算監査          | 25日 | 宮崎県広域水産業再生委員会第3回委員会 |
| 20日         | 宮崎県水産業成長産業化審査会      |     |                     |

## 6月の動き

|     |                          |     |                           |
|-----|--------------------------|-----|---------------------------|
| 1日  | 2022年度宮崎県水産振興大会第1回小委員会   | 27日 | 宮崎県資源管理協議会総会 令和4年度第1回通常総会 |
| 9日  | 宮崎県漁協参事会 第1回三役会          | 28日 | 宮崎県藻場干潟等保全地域協議会 令和4年度通常総会 |
| 14日 | 北浦地域プロジェクト地域協議会・支援部会合同会議 |     |                           |
| 16日 | 宮崎県浮魚礁利用協議会県南地区部会        |     |                           |
| 17日 | 2022年度 定期組合長会議           |     |                           |
| 25日 | 宮崎県広域水産業再生委員会 第3回委員会     |     |                           |

## 7月の動き

|     |                    |             |                           |
|-----|--------------------|-------------|---------------------------|
| 5日  | 宮崎県一漁協合併推進協議会      | 27日         | 宮崎県漁協職員連絡協議会 第6回通常総会(書面)  |
| 8日  | 宮崎県浮魚礁利用協議会 第1回委員会 | 28日         | もうかる地域プロジェクト中央協議会(北浦、川南町) |
| 13日 | 宮崎県漁協参事会 定例会       | 28日<br>~29日 | 初級職員研修(簿記研修)              |
| 22日 | 自民党ヒアリング           |             |                           |
| 26日 | 宮崎県浮魚礁利用協議会 県北地区部会 |             |                           |

## 8月の動き

|     |                           |  |  |
|-----|---------------------------|--|--|
| 17日 | 生存対策講習会                   |  |  |
| 20日 | 北浦製氷竣工式                   |  |  |
| 23日 | 第5回理事会                    |  |  |
| 26日 | 2022年度シーフード料理コンクール 1次書類審査 |  |  |

## 9月の動き

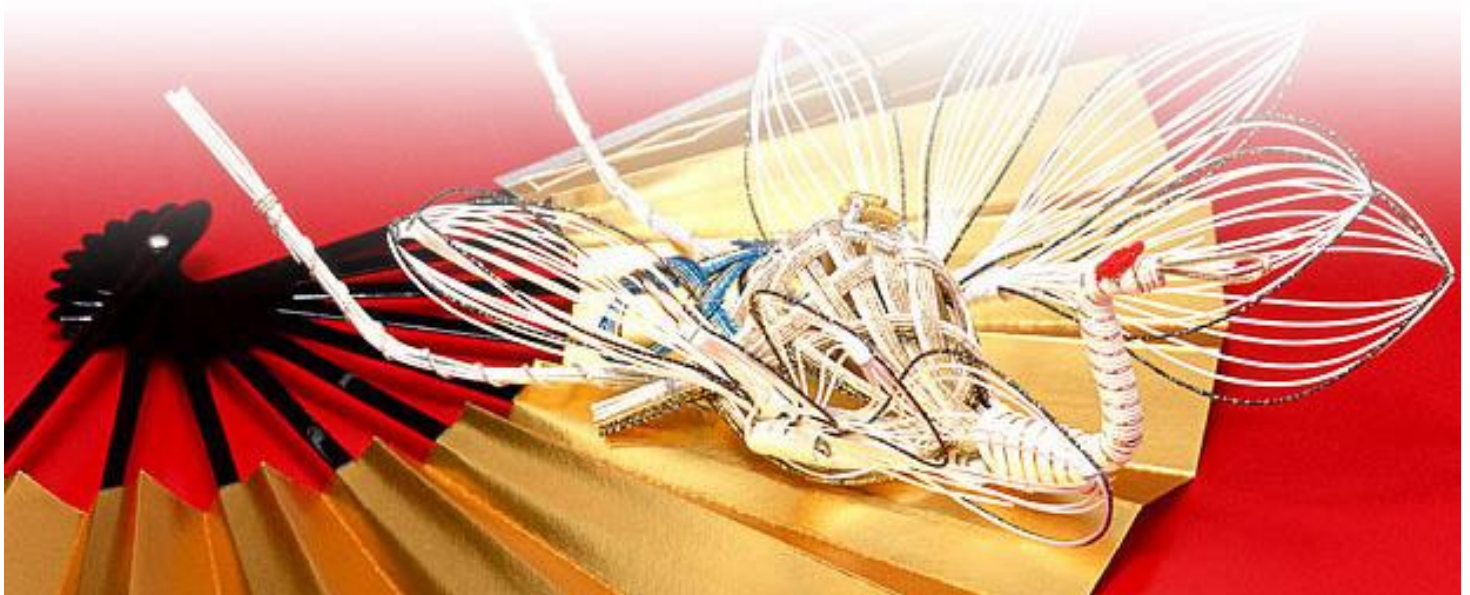
|     |                                 |  |  |
|-----|---------------------------------|--|--|
| 8日  | 水産振興大会運営委員会                     |  |  |
| 10日 | 2022年度シーフード料理コンクール              |  |  |
| 15日 | 第2回漁政対策委員会・ロケット事前協議             |  |  |
| 21日 | 第3回漁政対策委員会・ロケット事前協議             |  |  |
| 27日 | 宮崎県定置漁業協会 2022年度通常総会            |  |  |
| 28日 | 外国人技能実習生及び特定技能外国人における漁協担当者意見交換会 |  |  |

## 10月の動き

|             |                    |             |                   |
|-------------|--------------------|-------------|-------------------|
| 3日～4日       | 2022年度上半期決算監査(棚卸)  | 21日         | 第2回宮崎県浮漁利用協議会     |
| 11日         | 宮崎県浮魚礁利用協議会 県北地区部会 | 24日         | 県知事・県議会議長要望       |
| 13日<br>～14日 | 宮崎県漁協参事会視察研修会      | 24日<br>～26日 | 2022年度上半期決算監査(会計) |
| 13日<br>～14日 | 大分県漁協視察研修会         | 28日         | 2022年度第6回理事会      |

## 11月の動き

|      |                          |     |              |
|------|--------------------------|-----|--------------|
| 3～4日 | 2022年度上半期決算監査(棚卸)        | 18日 | ひむか地産地消交流給食会 |
| 11日  | 北浦地域プロジェクト地域協議会・支援部会合同会議 | 21日 | 日向灘掃海訓練視察    |
| 12日  | 宮崎県浮魚礁利用協議会 県南部会         |     |              |





## 編集室



明けましておめでとうございます。

今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

また、平素より「水産宮崎」をご覧いただき、誠にありがとうございます。

「水産宮崎」の担当となり早3年が経ち、多くの方々の協力を得て今年も新年号にたどり着くことができました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

さて、昨年の社会情勢を顧みますと、新型コロナウイルスに対応したワクチンの普及により様々な場面で制限が緩和され、今まで中止が続いていたイベント等も通常開催されるなど、楽しみが戻りつつあります。

また、その一方で、ロシアのウクライナ侵攻の影響による各物資の遅延や欠品により、日々の水道光熱費や日用品の価格高騰による、生活の困窮を免れない事態となっています。我々漁業界においても、セーフティーネットについては、令和2年度第4四半期より7期連続の発動となっており、令和4年度第1四半期は過去最高の補填単価となりました。

一方、本県の漁業生産については、前年度に比べ殆どの漁業種類において魚価は上昇したものの、漁獲数量、金額ともに減少しました。

漁業経営を取り巻く環境については、国際資源であるクロマグロの漁獲枠において、2022年1月から大臣許可船に公的IQ制度が本格導入されました。また、コロナ禍で入国できない状況が続いていた外国人実習生等については、同年3月の入国制限緩和により各JFで受け入れが再開されました。

このような状況の中、JFグループで働く職員として、漁業を守り、漁業を継承していくという観点から、多くの方々へ魚や漁業について関心を持ってもらえるよう情報を発信し続ける必要性を再認識しております。

漁業を取り巻く環境は、依然として漁業収益の減少や後継者不足等厳しい状況ではありますが、この「水産宮崎」が、漁業者の皆様、生活の改善に繋がるよう、関係者の皆様が情報共有していただくツールとしてご活用いただけるように、本年も引き続き紙面作りに精進して参ります。

結びになりますが、今年1年が皆様にとって、実り多き年になりますようご祈念し、私の挨拶とさせていただきます。

